地域高規格道路　松本糸魚川連絡道路　ルート（案）

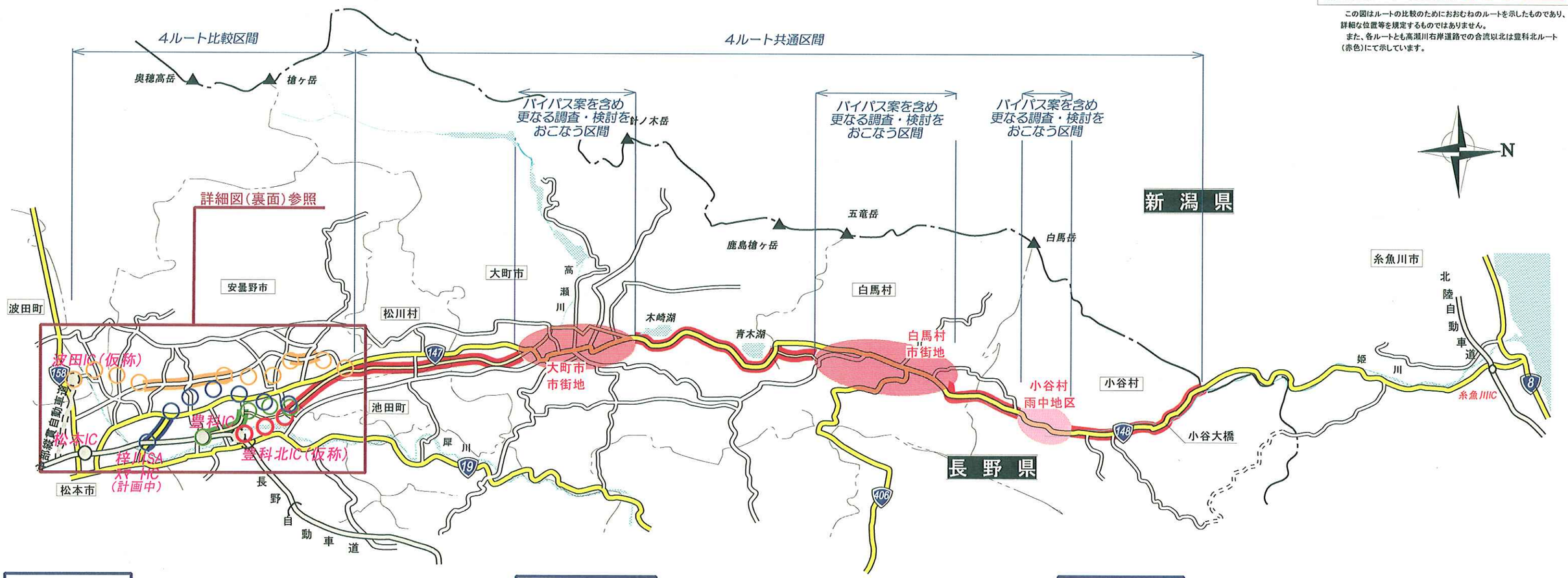
選定した比較４ルートの概要は次のとおりです。

- 波田ルート（波田IC（仮称）起点）　L=約81km　：広域農道（安曇地区）（一部BP新設）ー高瀬川右岸道路ー国道148号
- 梓川ルート（梓川SAスマートIC（計画中）起点）　L=約76km　：高家BPー国道147号BP（新設）ー高瀬川右岸道路ー国道148号
- 豊科ルート（豊科IC起点）　L=約73km　：県道柏矢町田沢（停）線ー農免農道BPー高瀬川右岸道路ー国道148号
- 豊科北ルート（豊科北IC（仮称）起点）　L=約70km　：長野自動車道連結（新設）ー高瀬川右岸道路ー国道148号

凡例

	新設区間	現在の道路を活用する区間
波田ルート	○○○	
梓川ルート	○○○	
豊科ルート	○○○	
豊科北ルート（最適案）	○○○	

この図はルートの比較のためにおおむねのルートを示したものであり、詳細な位置等を規定するものではありません。
また、各ルートとも高瀬川右岸道路での合流以北は豊科北ルート（赤色）にて示しています。



ルートの検討

長野県では、地域高規格道路の新たな構造要件を踏まえ、既存の道路をできる限り活用することを基本として、ルートの検討を行いました。

- 道路の主な規格
  - サービス速度は路線全体で概ね60km/hを目標
  - 車線数は原則２車線
  - 主要な道路（２車線以上）との交差点では立体化を検討
- ルートの選定

次の４地点を起点とし、各起点毎に、地域高規格道路として活用可能な現在の道路によるあらゆるルートを抽出し検討したうえで、その起点毎に最も望ましい１ルートを選定し、全体で４ルートについて評価を行いました。

- 波田IC（仮称）
- 梓川SAスマートIC（計画中）
- 豊科IC
- 豊科北IC（仮称）　（松本ICは豊科IC等で機能を満たすため検討過程で除外）

- 評価結果

県としては、「豊科北」ルートを一番有利な案と評価しました。

（評価の内容は裏面に記載）

地域の課題への対応

現時点の調査・検討結果では、主なものとして次のような地域の課題が残されています。今後さらなる調査をおこなう中で、これらへの対応を検討する必要があると考えています。

- 波田・安曇野地域
  - 渋滞への対策（国道158号、国道147号、広域農道など）
  - 国営公園間の連絡道路・アクセス道路の整備

    地域高規格道路として高速性の確保が求められる「松本糸魚川連絡道路」のみによってそれぞれの地域の課題を同時に解決することは、その性格上困難であり、個別の視点から今後対策を検討。

    特に松本圏域の幹線道路網については『松本都市圏総合都市交通体系調査』の中で位置付けていく。
- 大北地域
  - 災害時等の代替路線の確保（国道148号（小谷村以北））
  - 市街地等のバイパス案を含めた更なる調査・検討（大町市、白馬村、小谷村）

    特に小谷村以北における災害時等の代替路線の確保は、強く求められている課題であり、今後地域の地形・地質に留意し検討。

    大町市街地、白馬村駅周辺、小谷村雨中地区についてはバイパス案を含めたさらなる調査・検討。

今後の方針

豊科北ルートは、長野県が現調査時点において一番有利と評価している案です。
今後さらに協議・検討を行い、県として最終的なルートを絞り込んでまいります。

- 地域の皆さんのご意見・ご提案をお伺いします
- 計画の実現に向け、さらに調査や検討を行います
- 関係する機関との、必要な協議を進めます

（ルートや構造について）

今回のルート検討は大きな図面上での概略の検討であり、道路が実際にどこをどのように通るのか、また道路構造がどのようになるのかについては、具体的に決まったものではありません。

今後ルートを絞り込んだ時点で、さらに具体的な検討をしてまいります。

波田町から県境までを含むルート比較資料を参考資料として長野県ホームページに掲載しています。http://www.pref.nagano.jp/doboku/douken/matsuito/003.htm